

神奈川県ライトセンターの指定管理者候補(案)について

神奈川県立障害福祉関係施設指定管理者評価委員会
審査結果(指定管理者候補(案))

日本赤十字社

1 神奈川県立障害福祉関係施設指定管理者評価委員会審査結果

<評価点>

団体名(所在地)	選定基準別点数			合計点
	サービスの向上	経費の節減	団体の業務遂行能力	
日本赤十字社(東京都港区)	38	30	18	86
特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会(座間市)	32	14	10	56

<審査講評>

日本赤十字社

委員5名による協議により、委員会としての評価を行った結果、評価点の合計は86点となった。

他の団体との比較において第1位となり、総合的に判断して神奈川県ライトセンターの指定管理者として最も優秀な提案者とした。

優れていると評価した主な項目は、次のとおりであった。

施設の維持管理については、施設の設置目的に沿って適切な維持管理が見込める。

開館日の増加及びプール利用時間の延長など利用促進のための取組みを積極的に行う内容となっている。

安全管理においてはマニュアルが整備されており具体的な提案となっている。

組織再編により経費節減に取り組んでいる。

障害者雇用や資格を保有している職員の配置、職員の人材育成など団体の業務遂行能力について十分な取組みとなっている。

なお、さらに取組みを期待するとした内容については、次のようなものがあった。

ボランティアの高齢化への対応を期待する。

利用者や障害当事者等の意見を運営に生かすことにより、利用者サービスのさらなる向上に取組むことを期待する。

特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会

評価の結果、他団体との比較において第2位となった協会について、優れていると評価した主な項目は、次のとおりであった。

管理運営方針については、障害者権利条約の理念を踏まえた当事者ならではの理念となっている。

メールマガジンなどの利用者に情報提供するための取組みについて、当事者ならではの視点からきめ細かな提案があった。

ただし、不安とした内容については、次のようなものがあった。

施設の維持管理における委託の考え方に具体性がなかった。

安全管理の提案について、具体性に欠けていた。

人材確保の具体的な対応策が講じられていない。

2 神奈川県立障害福祉関係施設指定管理者評価委員会審査結果に対する 保健福祉局意見

審査結果について

賛同する ・ 検討の必要有り

日本赤十字社は神奈川県立障害福祉関係施設指定管理者評価委員会の審査において最優秀提案者と評価された。

保健福祉局としては、事業計画書の内容及び審査結果を踏まえ、次の点が優れていると評価した。

施設の維持管理においては、法定点検だけでなく、利用者の安全安心に結びつくものについては職員が自主点検する。

利便性及び魅力アップの取組として、年6日開館日の増加(これまで休館日としていた国民の祝日と重なる月曜日の翌火曜日並びに12月28日及び1月4日を開館日とする)やプールの利用時間を土日30分延長を図る。

安全管理マニュアルが整備され、緊急時の対応において、非常食を備蓄する。

執行体制においても3課7係体制を3つのグループに再編成し、役職ポストも減らすことなどにより指定管理料の20%削減に取り組む。

視覚障害者を3名雇用する。

点字指導技術認定指導員、録音技術者指導認定者、歩行訓練士など様々な資格を保有している職員を配置する。

公共図書館との連携を強化し、録音図書の利用者拡大を図る。

新たに、個人の要望に応じたテキストデータ及び携帯電話を使用したサービスを行う。

評価委員会の審査結果において、第2位の評価を得ている特定非営利活動法人神奈川県視覚障害者福祉協会は、次の点が優れていると評価した。

視覚障害者が社会参加に加え社会に参画していくことも重要とした運営の理念である。

メールマガジンなど利用者に情報提供するための取組みに点字データを添付する。

弱視者向けに「大活字図書館」を開設する。

年未年始を除く休館日の減少と土日も21時まで6時間の開館時間の延長を図る。

一方で、次の点が不安とされ、低い評価となった。

施設の維持管理における委託の考え方に具体性がなかった。

安全管理の提案について、具体性に欠けていた。

人材確保の具体的な対応策が講じられていない。

こうしたことから、保健福祉局としても、評価委員会の審査結果のとおり日本赤十字社が指定管理者候補として適切であると判断した。

また、指定管理者として決定した場合は、評価委員会で取組みを期待するとされたボランティアの高齢化への対応、利用者及び障害当事者の意見反映については積極的に検討し、さらなるサービスの向上に努めるよう働きかけていく。

なお、日本赤十字社は、平成18年度から現在の指定管理者であり、神奈川県ライトセンターを適切に運営している。